

■ 特集 「みちのくほいす」特別編! 消費者の声をご紹介



ぼくのわたしのお母さん



もちもち&ぷるぷる!? 「ピザ風ポテト」

《材料(1人分)》

- じゃがいも …… 2個(大か中サイズ)
- 薄切りベーコン …… 2枚
- とけるタイプのチーズ …… 60g(好みの分量で)
- パセリ …… 少々
- オリーブ油 …… 大さじ2
- 塩・しょう油など …… 少々(好みで)

《作り方》

- ①ベーコンを千切りにしておく。
- ②皮をむいたじゃがいもをすりおろす。
- ③フライパンにオリーブ油をひき、中火で熱してから②を全部入れる。
- ④③をフライ返しなどで形を整えて平らにしたら、弱火にして3~4分を目安に焼く。
- ⑤じゃがいもの周りに、きつね色の焦げ目がついてきたらひっくり返す。
- ⑥⑤の上に①のベーコンをのせて、その上にチーズをのせて、フライパンにふたをする。
- ⑦チーズが溶けたら火を止めて皿に移す。
- ⑧好みに塩・しょう油で味付けをする。
- ⑨きざんだパセリをちらしてできあがり。



尾花沢市下柳渡戸
小関 栄子 さん

熱いうちに食べると、もちもち&ぷるぷるの歯ごたえが楽しめます。味付けによって、おやつにもおつまみにもなる便利な一品。冷めないうちに、さあ召し上がれ!
ちなみに、じゃがいもは「きたあかり」が、またチーズはピザ用のものが、わが家ではオススメです。

2003年1月からのレシピをホームページに掲載。
献立に困ったらすぐアクセス
<http://www.mitinoku.or.jp/recipe/>



▲愛車のトラクターと1枚。「排土板、自分でつけましたよ」と青木さん。

この農家に聞く。

「七ヶタ農業」に成田闘争…。 相棒のトラクターと 駆け抜けた昭和

PROFILE

大石田町大浦
あおき ゆうじ
青木 勇治さん (67歳)

■水稲7.8ha、アスパラ30a、そば1.5haを栽培

父との開墾作業からスタートした農業人生。「時代の流れに乗るだけで精一杯」だったという40年間の、笑顔で振り返ってくれた。

「農家になったきっかけは？」
昭和41年に農業高校を卒業後、就農しました。農家の長男だったからそれが当たり前という感じでしたね。同世代の人も6〜7割は農家だったと思います。昭和40年代は、父と桑園を造成しました。もともとこの辺りは勾配のある土地が多く、水田も少ない畑作にも向かない土地でした。それで地域の草刈り場や国有地を払い下げて切り拓き、父の代から養蚕を始めたんです。

「就農当時と今の気持ちの変化は？」
本当は、農業やりたくなかったんです(笑)。就職する時、セールの口もあつたんです。人と話すのが苦手だったので辞退して、就農しました。ただ機械に触るのは好きで、最近までトラクターもかなり大きいのを使っています。故障すると、自分で分解して直していたものです。「機械バカ」だと思いますね。飯も食わず、夜も寝ないで機械をいじることもありました。

「心に残る出来事は？」
出稼ぎで、成田空港の造成に関わったことがあります。トラクターを一台持っているだけで引っぱりだこでした。トラクターが関東圏にはなかったように、ひとりで何社分かの働きをしたと思います。給料は手形で支給されたり、他の農家の手伝いをしてご飯とお酒をご馳走になったりと面白かったですよ。ただ、いわゆる成田闘争があったので、飲み屋に行っても成田での仕事の話は内緒でした。そうではなくても機械置き場が焼き討ちにあつたりと、物騒だったんです。

「農業で感じたことは？」
十代の頃は夢を持っていました。どうせなら出稼ぎに行

「今後の目標を教えてください」
今は規模縮小も考えています。誰か、経営を引き継いでくれればしめたものなんですけど、去年からアスパラを作っています。取り頃が田植えの時期とかち合おうし、人を雇っていても収入イコール労務費になっちゃうので大変です。息子は百姓する気はなくて、孫にさせるつもりもないです(笑)。私もあと10年弱、75歳くらいまでがせいぜいかなと思います。でもインターネットを利用した農産物の販売などにも興味はありますし、やれるだけやってみるつもりです。



ベターホームのお料理教室

ニラ

スタミナ満点！ 疲労回復効果があります

年中出回っているニラですが、旬を迎える春先には、やわらかで香りの良いニラが出回ります。種類はさまざま、よく見かける緑色のニラ以外にも、日光を当てずに作った白っぽいものもあります。また、つぼみが付いた「花ニラ」は、ニラ独特の臭いがマイルドで、甘味が特徴的です。

カロテンやビタミンE、食物繊維を多く含みます。ニラ特有の臭いの原因である、「アリシン」という成分は、疲労回復効果のあるビタミンB1の吸収を高める働きがあり、豚肉や大豆製品と一緒に料理すると、より効率的に栄養を摂取できます。アリシンには抗酸化作用や、血行を良くして体を温めるスタミナ増進の働きもあります。

新鮮なニラは、葉が肉厚で幅が広く、葉先まで張りがあります。傷みが早いので早めに使い切りましょう。保存はポリ袋に入れて野菜室へ。生のまま一口大に切って冷凍してもOKです。凍ったまま、炒め物やスープに入れて調理できます。

よく利用されるのは炒め物ですが、ニラは火の通りが早いので、さっとゆでておひたしやごまあえにしても、おいしく召し上がれます。

「ぼくのわたしのお母さん」

村山市本飯田
まつ だ あきら
松田 明さん (38歳)
せつ こ
節子さん (37歳)
しょう た
翔太くん (1歳)

今月の表紙

松田さんの家はおそば屋さん。長男の翔太くんは「木べら」がお気に入り、お母さんにおんぶされて台所に行くと、いつも手を伸ばして遊びたがります。うれしい時やかなしい時、感情豊かに表現してくれる翔太くんはお店のアイドル。お客さんに声をかけられ、帰りにはバイバイと手を振って見送ります。翔太くんに引き寄せられて、最近では子供連れのお客さんも増えてきたとか!?

お母さんからお子さんへ

「子どもができて、初めて勉強になることってたくさんありますね。将来は、やりたいことを見つけて、「翔」の字の通り羽ばたいてね!」



Contents

- 食のはなし／今月の表紙…… 2
- 土が好き……… 3
- みちのく《-ZOOM-ズーム》
「みちのくほいす」特別編！
消費者の声をご紹介…… 4～5
- みちのくFLASH…… 6～7
- 第30回農業高校生
小論文コンクール作品紹介
／地域の話……… 8～9
- みんなのふれあい広場……10～11
- みちのくほいす
／クロスワードパズルほか
………12～13
- ふれあいINFORMATION
………14～15
- わが家の味じまん………16

「みちのくぼいす」特別編!

消費者の声をご紹介



さくらんぼ

読者の方のおたよりを紹介している「みちのくぼいす」に寄せられた消費者の方からの声をご紹介した感謝・お礼・驚き・応援の「ぼいす」を

「みちのくぼいす」。今回は特別編として、当JA管内の農作物に寄せられた声をご紹介します。

尾花沢すいか

毎年、山形のさくらんぼが楽しみです。「小さな恋人」という可愛いパックも気に入っています♡

美味しいさくらんぼを味わえるのは、生産者さんの努力のおかげですね。

広島県・Tさん

今日、さくらんぼが届いて美味しく食べさせていただきました。感謝いたします。

茨城県・Yさん

初めて産地を通して買ってみようと思いました。私たちが住む所では、さくらんぼの風景や雪の風景を見る事ができません。雪国育ちの甘いさくらんぼが楽しみです。

さくらんぼ、5人の孫たちとワイワイ言いながら少しずつ食べています。

長崎県・Iさん

毎年、さくらんぼが一番楽しみです。

神奈川県・Kさん

さくらんぼ、今年も大変おいしくいただきました。何か、最近のおすすめがありましたら是非教えてください!

東京都・Iさん

いつか山形でさくらんぼ狩りをするのが私の夢ですが...それが叶う日までは、山形を想いながら、主人と一緒にさくらんぼを美味しく頂きます!

広島県・Tさん

山形県といえば寒河江、天童、東根、立石寺、出羽三山、こんにゃくの店、紅花畑...といろいろありますが、メインはやっぱり村山のさくらんぼです。

東京都・Iさん

毎年この季節になると、甘いすいかを家族で楽しんでいます。

埼玉県・Yさん

ふるさと納税で頂いたすいかがとても美味しかったです。

山形最高!
東京都・Mさん

甘みが強くサクサク感がたまりません。お中元に送った人達も「こんなに美味しいすいかは初めて」。

神奈川県・Nさん

道の駅「ねまる」で、その美味しさに驚きました。

東京都・Iさん

アンテナショップで試食。こんなに美味しいすいかは初めて!

群馬県・Mさん

すいか大好物ですが、一年に一回、尾花沢すいかしか食べません。はずれないから好きです。

岩手県・Kさん

甘い尾花沢すいかの到着が待ち遠しいです。

滋賀県・Yさん

この季節の我が家の風物詩。尾花沢すいかの虜になって4年目、家族も待ち焦がれています。

東京都・Eさん

贈り物に利用しています。母はいつも「美味しい」と言い、孫からも毎年せがまれます。

東京都・Nさん

勤務先で尾花沢すいかの話したら、何人もの人から購入方法を聞かれました。同僚にも美味しさを分かってもらえる!とうれしく思いました。

神奈川県・Kさん

地元スーパーで食べて大ファンになりました!

愛知県・Yさん

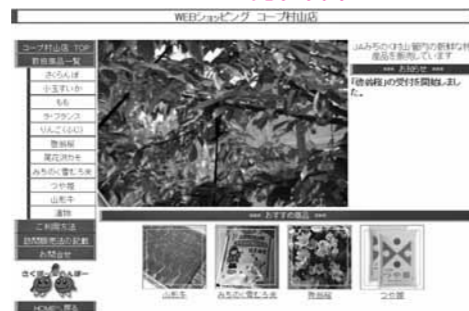
JAみちのく村山ホームページ内「WEBショッピング」

尾花沢店



<http://www.mitinoku.or.jp/obfc/index.html>
(尾花沢牛肉まん・幻酒 翁山・スイカサイダー・雪降り和牛など取り扱い中)

コープ村山店



<http://www.mitinoku.or.jp/coop/index.html>
(山形牛・みちのく雪むろ米・つや姫など取り扱い中)

今すぐアクセス!
購入の案内や贈答にご利用ください。



お米も...

緑きらめく奥羽山脈と、清々しい絶景の最上川。豊かな場所で育てられた「つや姫」一粒一粒が、ふっくら呼吸をしています。おにぎりにも最適とピカピカのプラチナおにぎりです。おいしさは絶品、おいしいおいしいと云って頂きます。名古屋は7月に入って毎日35度以上ばかりで、湿度も高く蒸し暑い日々です。でもつや姫で活力を頂きます。農家の皆様、おいしいお米をありがとうございます。心より感謝しています。

愛知県・Iさん



▲冊子の編集メンバーと、出版の喜びを語る清藤前組合長（左端）

発刊！『尾花沢西瓜史 スイカものがたり』

尾花沢すいカの歴史や生産過程が写真付きで紹介されている『尾花沢西瓜史 スイカものがたり』がこのたび発刊。長年すいかに生産に関わってきた有志などからなる研究会が作成し、3年がかりで出版に至ったものです。

1月23日には発刊記念祝賀会が開催。編集メンバーの一人、当JA前組合長の清藤尚一氏は「尾花沢すいかの歴史は記録が少なく、人々の記憶も薄れている。今こそ整理しなければと思った。この冊子によって、産地としての尾花沢のますますの発展を願いたい」と話しました。この冊子は400部が作製され、市内の小中学校や図書館などに寄贈。自由に閲覧できるようにしています。



▲民謡ショーの歌声に耳を傾ける女性部員の皆さん

にぎやかに設立20周年をお祝い

村山市袖崎地区の洗心会館で26日、村山地区女性部袖崎支部による、JA合併ならびに女性部設立20周年を祝うイベントが開催。大石田民謡研究会の木村里美さんによる民謡ショーや、山形大黒舞などが披露。女性部事業体験コーナーとして、手作りのくぢらもちの振る舞い、茶の湯の作法を学べるコーナーも設けられました。



▶仲間のお手本に注目！慣れた手つき

今年の「初釜」楽しくなごやかに

楯岡支店の和室で22日、女性部楯岡支部の茶の湯愛好会による「茶の湯教室」が行われました。毎年この時期に開催しており、今年で27回目。同会メンバー9人が参加し、中には晴れ着の人も。仲間同士で作法を教え合いながら行われた「初釜」、JA職員も招かれて和菓子と抹茶を味わいました。



▲村山市中央CE施設利用組合の高橋敬美組合長によるあいさつ

中央CE施設20周年 歴史を振り返る

本店で15日、1995年に落成した村山市中央カントリーエレベーター施設の稼働20周年を記念して講演会と祝賀会が開催されました。全農山形米穀部の落合規幸部長が、米の販売情勢や米価の推移について講演。祝賀会では同施設の20年のあゆみが紹介されました。



▲2月には大売り出しも予定しています。

産直「つなぎ」冬でも元気に営業中！

大石田農産物直売所「つなぎ」の店舗が、以下の期間、グリーンおおいしだ内の特設売場で営業中。ごぼう、小松菜、うるいなど、冬の特産物を取りそろえてご来店をお待ちしています！

- ◆期 間：平成27年4月中旬まで
- ◆営業時間：午前10時～午後4時
- ◆定 休 日：日曜日・祝日



▲苗木作りの様子(昨年11月)

れを告げる花として人気が高まっています。また啓翁桜は、生産者にとっても魅力的な作物です。一度植える と長期間栽培でき、雪の中で作業や高所作業が不要。村山宮農センター花木生産部会では、こうした利点を農家に知ってもらおうと、昨年より栽培説明会や苗木作りを行っています。

昨年12月末から、当JA本店の花木促成ハウスで啓翁桜の出荷が行われています。啓翁桜は、満開時のピンクの花とさわやかな香りが特徴。真冬に花を咲かせるために成木から枝を切り、結束したものをハウス内で加温し、開花の準備ができたものから出荷します。毎年、関東の市場を中心に出荷されており、一足早い春の訪



▲出荷作業中。枝の長さをしっかり確認

啓翁桜で、ひとあし早い春をお届け



▶参加した米農家に対し、JA職員が説明

▲あいさつする鈴木部会長

「特裁米」づくりを後押し

尾花沢宮農センターで1月18日、尾花沢特別栽培米（特裁米）部会による全体会議と、特裁米の栽培を希望する農家を対象とする説明会が開催されました。鈴木文雄部会長が「米価が下落している今、より多く売れる米を作らなければならない。尾花沢産の特裁米を増やしていこう」とあいさつ。JAの担当職員が、同部会の取り組み内容や、栽培で使用する肥料農薬について説明しました。参加者の一人は、「つや姫や特裁米がこれからはスタンダードになっていくのではないか」と話していました。



▲資料を読みながら説明に耳を傾ける出席者(大石田)

予約は全量JAへ！

1月7日に大石田で、10日に尾花沢で、22日に村山で、それぞれ平成27年の肥料・農薬・生産資材の早期予約を取りまとめるための説明会が行われました。いずれの会場も組合員や県・町・全農・農薬メーカーの担当者など大勢が訪れ、JAの担当職員が農薬価格の情勢について説明。①大口利用農家奨励措置を実施する②早期予約で申し込んだ場合の代金精算時期を最大で10月まで無利子で延長する③農薬大型規格を特別価格で設定する——などの早期予約のメリットが説明されました。



▲自宅そばの園地で。「尊敬する父と協力して、六次産業化をすすめていきたいです」。

それを販売できないかと考えたのです。現在、ジュースの加工は、外部の専門業者に委託している状態ですが、我が家の敷地内に加工所を建て、生産できないかと考えています。さらに今年は、天候不順による落果が多く、廃棄する果実の量が増加している状態です。手間暇をかけて育ててきた果実が、収穫前に落ちてしまい販売できなくなるといふのは、農家にとっては経営的に大きなマイナスです。さらに廃棄するためには、大きな負担が伴います。しかし、それを自分の手で加工することで付加価値をつけ、新たな収入として得られるプラスのものとして利用できるのです。また、この加工品づくりを果樹の管理が落ち着いた冬期間に行うことで、過剰な負担にならず、また、時期を問わず販売できるため、安定した収入源となります。

我が家の果実を通常でお客様に届けたい。自分の目指す農業経営が見えてきました。まずは高校卒業後、農業大学の加工経営学科に進学し、ジュースをはじめ、ジャムやドライフルーツ、漬物など、たくさんさんの加工技術と知識を身につけます。その後、就農し、父について果樹栽培を学び、経営に携わっていきます。さらに、我が家の敷地に新たに加工所を作り、ジュースやドライフルーツなどの加工品の製造・販売を始めます。まずは、我が家の果実を購入していただいている固定客から加工品の販路を作っていきます。そして、将来はオリジナルの加工品を開発したいとも考えています。なるべく今の経営の負担にならない形で加工所や設備を整えられるよう、県などの補助制度を利用することも両親と相談しています。今、六次産業は農家を元気にするとして注目されている新しい産業です。私は、我が家の自慢の果物を多くの人に味わってもらうため六次産業化を行い、地域活性化の力となるような農業経営を行っていきます。



▲お父さんの篤さんと。「継続は力なり。農業を世代世代でつないでいくのが農家の使命です」と篤さん。

平成26年度
第30回農業高校生小論文コンクール
JA山形中央会が主催する「農業高校生小論文コンクール」も今年で30回目。後継者の育成や教育活動の一環として毎年行われており、今年も県内6つの農業高校から26点の小論文が寄せられました。今回はその中から、優秀賞を受賞した村山産業高校の青柳亮一さんの作品をご紹介します。



山形県立村山産業高等学校 農産システム科三年 青柳亮一

◎優秀賞

私の目指す農業経営

私の家は村山市白鳥地区で、果樹生産を行っている専業農家です。曾祖父の代から果樹栽培を行い、私以後を継ぐと四代目になります。約3haの果樹園にアウトウ、リンゴ、ラフランスを栽培しています。後継者になると決意したのは、小学六年生のとき、私が収穫した果実を買っていただいたお客様の喜ぶ姿を見たときでした。

果樹栽培だけでなく、農業に興味を持っていた私は、農業高校に進学し、現在、村山産業高等学校農産システム科で果樹や植物バイオテクノロジーなどの専門分野の学習を積極的に行っています。部活動も農業部に所属し、植物バイオテクノロジーによる苗生産や地域農業の特産品開発などに取り組んできました。卒業後の進路は、農業大学校に進み果樹栽培に関するより実践的な知識と技術を身につけ、将来は我が家の果樹経営に携わる、そこまでは考えていましたが、具体的にどんな経営にするかまでは考えていませんでした。

自分の目指す経営を考えるようになったのは、授業の中で出てきた「六次産業化」という言葉がきっかけです。生産者自らが農産物の加工・販売までを行い、新たな事業として行う方法があることを知り、我が家の現状を振り返りました。

我が家では、以前から落果や規格外で販売できない果実をジュースにして、自家消費用として利用してきました。自家消費用なので、ジュースにするのもリンゴの一部であり、それ以外のものは廃棄していましたが、私は、この落果や規格外の果実をすべてジュースやドライフルーツなどに加工し、

地域の話題

一年の最後の「しめ縄」はしめ縄で

平成26年12月28日、村山市楯岡二日町の公民館で、「しめ縄」作りが行われました。60年以上続く行事で、戦後に引き揚げてきた人たちが作った「戦友会」から「俵会」へと引き継がれ、現在は農事実行組合が請け負っています。メンバー約10名が集まり、稲わらを何重にも包んだものを、2〜3人がかりで足で押さえたり体重をかけたたりしながら編んでいきます。本殿用と鳥居用の二種類が作られ、地元の楯山の稲荷神社へ奉納されました。



▲渾身の力を込めて、太い縄を結っていきました

気合い十分、清めの水をかぶって参拝

尾花沢市の延沢地区で11日、「第21回愛宕神社奉納 裸参拝（はだかまいり）」が開催。下帯姿の男女23人が、清めの水をかぶって神社の参道を駆け上がり、一年の無病息災を祈願しました。中には県外やネパールからの参加者も。沿道の人々は、参拝者が水をかぶるたびに歓声をあげて応援していました。地域おこしの一環として行われているこの祭りは数百年の歴史があり、最近はいんターネットでも参加者を募り、全国から大勢が参加しています。



▲エイヤッ！左、右、上からの順で3回かぶります。

みんなの
ふれあい
ひろば

FUREAI HIROBA



尾花沢市丹生

ほんま 間 一 煌 くん (1歳)

大河さんと祐香さんの長男。今まで一度も病気をしていないという、とても健康な男の子です。人なつこくて、お客さんにはこにこ笑顔でお出迎え。つかまり立ちができるようになってからは、おもちゃの自動車も卒業し、好奇心に任せておうちの中を歩き回るようになりました。特に台所が気になるらしく、人がいると「何してるのかな？」と見たがります。一煌くんがぶつかってケガをしないようにと、家族は部屋の片付けにおおわらわださうです！

◆お父さんお母さんから、一煌くんへ
「長く歩けるようになったり、どんどんできることが増えている一煌。一日ごとに成長が分かるのはうれしいですね♡」

ふれあい

Essay

エッセイ

「農業に就いて」

尾花沢市野黒沢

小 松 良 雄 (67歳)



数年前まで、勤めの傍らごく小規模ながら、米作りの兼業農家をしてきたが、勤めの合間の作業のため、機械依存の採算度外視の米作りでした。サラリーマン定年退職を機に、稲の苗作りから始め、畑作も、少ないながら出荷作物まで取り組んできました。就農したはじめは、体づくりと健康維持を目的に進めたものの、機械の老朽化による更新購入に設備投資と、経費を投入せざるを得なく、採算を考えるようになり、僅かではあるが土地を増やし、農業を進めて来た所、基本とする米価も年々下り、予想はしていません。この昨年に大幅な下落となり、意外と早い米の安値の到来で、戸惑いを覚えました。先の見えないのが日本農業ではないかと思えます。ミニマムアクセスから、今後のTPP協議導入には、一部の農家を除き、農業が大きく後退するのではと不安に思うもので、日本の主食の米が意外にも早く、国内農業では大変危機的な状況になるのではと心配の限りであります。言うに及びませんが、日本農業は、食の安全、自然環境の維持保全、災害防止等、地域環境から生命の維持を考えるに、大事な産業でもあると思っております。これまでの農政を見れば、猫の目の様にコロコロ変わり長期計画を立てるのがむずかしいのが農業かと思えます。本市農業の主なものとして、米、和牛、スイカがあります。TPP、温暖化を考えると農業の厳しさ、押し寄せてくる事、特に、農従事者の高齢化が問題ではないかと思うのであります。農家の子供が農業を継がないのが殆どであり、社会情勢を見ながらの農業経営が大変難しい事を認識せざるを得ないものであります。又、収穫の喜びも魅力の一つで、気候に左右されるのも農業であります。

あれこれ

～遊・楽・Time～

編み物は昔から得意という高橋さん。本格的にやり始めたのは、友だちの服を気に入って、その「設計図」をもらったのがきっかけでした。それ以来、セーター、ベスト、チョッキなどをどんどん作っています。「服は種類によって、完成まで3～7日かかります」と話しながら、インタビューの合間に見つけた糸のほつれもあつという間に直していました。「手編みの服は体になじむし暖かいです。儲けにはならなくても、作ったものを欲しいと人から言われるのは嬉しいですね。これからも、いろんなシーンで使えるものを作っていきたいです」。

村山市富並

たか はし しげ こ
高 橋 繁 子 さん (66歳)



大石田町丹沢

たか はし ひろ ふみ
高 橋 博 史 さん (24歳)

☆星座・さそり座
☆血液型・A型

かがやき!
Boy

- ▽今の職業は？
大石田町役場に勤務しています。
- ▽趣味は？
将棋など、頭を使うテーブルゲームが好きです。
- ▽理想のタイプは？
おろちで、一緒にいると落ち着ける人がいいですね！
- ▽今やりたいことは？
イタリアに旅行に行ってみたくて、すつと憧れているんですが、なかなかチャンスがありません。
- ▽好きな農畜産物は？
ナスです。特に揚げナスはピールのお供に最適ですね！
- ▽農業について一言
最近米も安く、農家にとって厳しい状況です。農業なくして日本はないと思うのでもっと盛り上げたいですね。もちろんナス農家も応援してます！(笑)



来月のあなたの運勢

3月

モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座 3/21~4/19

【全体運】周囲に思いやりを示すことで、ラッキーチャンスが増える時期。優しさが幸運の鍵に。開運には清掃がベスト

♉ 牡牛座 4/20~5/20

【全体運】新しい出会いに恵まれそう。飲み会や旅行に誘われたら、気軽に参加してみて。講演会を聞きに行くのも刺激に

♊ 双子座 5/21~6/21

【全体運】意固地にならず周囲の言い分を耳を傾けた方が得るものあり。迷ったときは謙虚に助言を求めて。盆栽につき

♋ 蟹座 6/22~7/22

【全体運】行動力がアップ！やってみることに果敢にトライすると、好結果に。アウトドアな趣味を始めるのにも最適

♌ 獅子座 7/23~8/22

【全体運】言葉の裏を読み、物事をややこしくしがち。持ち前のストレートな発想が必要。体操やストレッチで気分転換を

♍ 乙女座 8/23~9/22

【全体運】優柔不断になりやすい月です。独りで悩まず、信頼できる人に相談しましょう。趣味などで自分を磨くのは吉

♎ 天秤座 9/23~10/23

【全体運】ネガティブになりやすいよう。少しくらい失敗しても全部駄目だと決め付けしないで。手帳整理で運を引き寄せて

♏ 蠍座 10/24~11/22

【全体運】レジャー運が盛り上がり。気の合う仲間とお花見などの季節行事を楽しんで。創作活動に励むのもラッキー

♐ 射手座 11/23~12/21

【全体運】短気になりやすい暗示。ささいなことでもめて、後悔する可能性が大。慎重に。一人の時間をつくり、気晴らしを

♑ 山羊座 12/22~1/19

【全体運】コミュニケーション運が活性化。苦手意識を感じていた相手とも、楽しく会話が弾みそう。出会いにも期待が

♒ 水瓶座 1/20~2/18

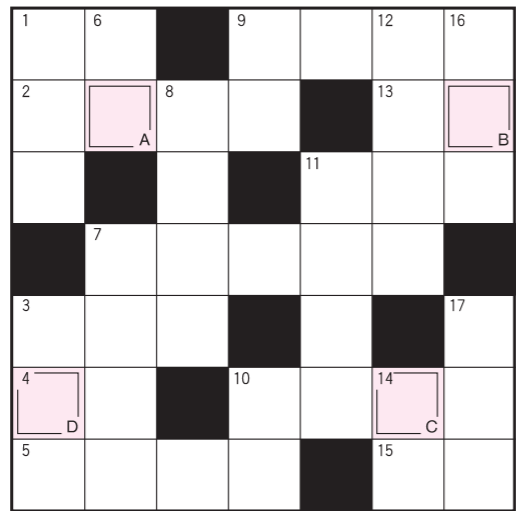
【全体運】和やかなムードに包まれ、のんびり過ごせそう。好きなことを満喫する好機といえます。芸術鑑賞も良い刺激に

♓ 魚座 2/19~3/20

【全体運】自分に自信が持て何にでも意欲的に臨める星回り。新しい取り組みも、スムーズに発展しやすいでしょう

やってみよう! クロスワードパズル

クロスワードを解いて、A~Dの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

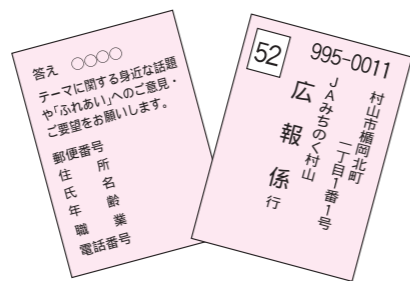


- ### ヨコのカギ
- 木々が空中で伸ばします
 - ひな人形に供える四角い食べ物
 - 良ければ全て良し
 - 便箋に引かれた線のこと
 - 「石川早生(わせ)」や「セレベス」などの品種があります
 - レーズンともいいます
 - 砂蒸し風呂で有名な鹿児島島の温泉地
 - 日本髪に挿す飾り
 - アクセルを踏んで する
 - 塗り絵に付けます
 - 文字のそばに小さな文字で振ります

- ### タテのカギ
- 伊予カンやボンカンの主産地
 - 新潟の民謡「佐渡」
 - 昆布やかつお節で取ります
 - 3月14日は デー
 - 知識を多く蓄えた人のこと
 - を聞いて十を知る
 - アヒルはこの鳥の仲間を品種改良して作られました
 - 大関は、負け越すと大関から陥落します
 - ゆでた野菜や麺の水分を切る时使用します
 - マラソンの自己 を更新した
 - 夕方に窓から差し込みます

応募方法

〔ハガキ記入例〕



- ◆ 応募のきまり
 - ・〔ハガキ記入例〕を参考に記入して下さい。1人につき1枚有効です。
 - ・みちのくぼいすの「今月のテーマ」の話題や、本誌へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。なお、紙面のスペースの都合上、一部のハガキや文章の内容を割愛することがあります(みちのくぼいすに掲載されない場合でも、クロスワードパズルの応募対象者となります)。
- ◆ 送り先
 - ・ハガキ.....上記〔ハガキ記入例〕をご参照下さい。
 - ・電子メール...fureai@mitinoku.or.jp
 - ・FAX.....0237-55-5825
- ◆ 応募締め切り 2月25日(水) ※当日消印有効
- ◆ 発表
 - ・「ふれあい」3月号誌上にて行います。あらかじめご了承下さい。
 - ・クロスワードパズル正解者の方の中から抽選で5名と、みちのくぼいすの「今月のテーマ大賞」の方1名に、図書カードをプレゼントします。

1月号の答えは「ポタンユキ」でした。

パズル正解者の中から厳正な抽選の結果、左記の5名の方が当選しました。

おめでとございます。

- 井上美枝子さん(村山市河島)
- 土屋朝子さん(村山市富並)
- 鈴木留代さん(尾花沢市延沢)
- 伊藤清隆さん(尾花沢市北町)
- 石山希々花さん(大石田町鷹巣)

フ	キ	ノ	ト	ウ	パ
ユ	ソ	ウ	シ	ソ	ン
ビ	リ	ク	ク	ク	
カ	ン	ボ	ジ	ア	
カ	ラ	ミ	ツ	フ	
タ	ス	キ	エ	チ	ゴ
ナ	タ	ツ	キ	ユ	ウ

↑1月号の解答

みちのくぼいす

読者のひろば

今月のテーマ

冬、私のこんな失敗談

テーマ大賞

約事・趣味と忙しい日々を送っていました。友人から「たまに骨休めしないと」と言われていた矢先、会社の駐車場で滑って転倒。左足骨折で入院。本当の「骨休め」になった年でした。(尾花沢市60歳会社員)

ス バイクタイヤ禁止になって間もなくの頃、暮点橋で軽トラックが半回転し、雪に突っ込み停止。幸い、対向車と後続車がいなかったため助かりました。皆さん、橋の上は徐行しましょう。(村山市72歳農業)

車 のブレーキが凍結し、曲がるつもりが真っすぐに進み、雪に突っ込んだことがありました。幸い、怪我はありませんでした。(大石田町64歳)

雪 が積もると、果樹の雪おろしが大変。上を向いて、長い「ヘラ」で枝の雪を突つくと、毎回頭に当たります(笑)。(村山市67歳農業)

軒 下で雪を片付けていたら、屋根から雪が落ちてきて、危うく埋まってしまつたところでした!!(大石田町30歳会社員)

雪 が降る前に、がんばって地デジのアンテナを設置したのですが、アンテナに雪が積もって倒れてしまいました。プロの人に設置してもらったんだなとつくづく思いました。(村山市48歳会社員)

尾 花沢で大雪は当たり前ですが、毎年「なんてこんなに降るのか」って言ってしまつて。この間、除雪の跡を歩いたらすってんころりん。周りに人がいないかとキョロキョロ見してしまつた。(尾花沢市60歳主婦)

大 寒の凍み大根。今年は暖冬でなかなかうまくいきません。一月二十日から大寒ですので、おいしい凍み大根を作つて暖かい春を待ちましょう。(村山市79歳自営業)

運 転中、対向車に注意を受けて止まってみると、なんとドアにオーバーを挟んだまま運転してしまつた。とても恥ずかしかった! (尾花沢市56歳女性)

結 婚する前に、必ず嫁ぎ先の雪の多さを確認するべき! 家の母は、「たまされた!!」と冬になると吠えています。(村山市27歳会社員)

ホ ットコーヒーを買おうと自動販売機にお金を入れても見つかりませんでした。ちなみに100円硬貨でした。(尾花沢市56歳公務員)

私 の地域は消雪道路で流雪溝はなく、車庫の前の雪は道路に出すしかありません。作業を終えて家に入ろうとした時、車が通つて頭から雪と水をかけられたことがありました。まさに冬の失敗談!(尾花沢市65歳)

猛 吹雪で車が動けなくなることが一冬に3~4回あり大変。特に風の強い粟生、鶴巻田、正殿橋には注意しよう。(尾花沢市67歳農業)

寝 められようと思つて、めつたにしない除雪を一生涯懸命したところ、力が入りすぎてスノーダンブに顔を打ちつけて前歯がポロリ。涙ポロポロ。あれから一年、早いものです。(尾花沢市32歳会社員)

雪 かきしなればと、はりきつて身支度を整えていざ外へ。流雪溝に雪を投入したのですが、水が流れておらず、いつも出ている人の姿も見当たらなくて、水が流れない日もあるのだとようやく納得しました。流雪溝のありがたさを実感しました。(尾花沢市60歳主婦)

ス ノーダンプを使って雪を運んでいたら、すべつて柄にアゴをぶつけてしまいました。しばらくカットパンを貼つて過ごしました。(村山市50歳自営業)

寒 い冬、ねこと一緒にぬくぬくしています。(尾花沢市12歳学生)

寒 い冬の夜は、納豆汁を食べると美味しく、体が暖かくなります。寒さと雪には負けてなんかいられません! 「早く春になれ」そんな毎日を過ごしています。(大石田町65歳主婦)

次回のテーマは「今、雪が解けたらこれをやりたい!」です。

春作業の準備、雪解け後のイベント、雪のせいで出来ないあれこれ... 春が待ち遠しい皆さんの、もどかしい気持ちを寄せ下さい。皆さんのハガキをお待ちしています。

